

記載例

事業計画書

1. 転用行為の必要性 (必要性)

なぜ、この事業がこの場所で、今必要なのかをできる限り詳しく記入
現在の状況、除外が必要となった経緯、申出地を選定した理由など

現在、私はさくら市内で経営面積〇〇ha 程度の水稻農業を営んでおります。
5年後を目標に現在より更に30haの経営面積拡大を計画しています。経営
面積拡大を図る中で、経営形態を見直し、刈り取り後の乾燥調整施設を建築し、
作業効率化を図ることとしました。そのため乾燥調整施設の建築を要します。

(緊急性)

5年後の目標達成を目指すにあたり、来年の刈り取りには施設を運用したい
ので、早急に着手する必要があります。

2. 土地の選定理由

今回自己所有住宅を建築するにあたり、私自身が所有している土地はござ
いませんが、父がいくつか土地を所有しており、施設の建築にあたり土地を使
用する許可が得られましたので、父が所有する土地から検討いたしました。父
が所有する宅地、雑種地は既に住宅や、自家用倉庫等が建っており適当なスペ
ースはありませんでした。また、父が所有する宅地以外の土地はすべて農地で
す。

そこで、実家敷地南側に隣接する農地は周辺に土地改良施設等もなく、隣接
農地にも大きな影響を及ぼすことはないと考え、当該用地を選定いたしまし
た。

選定過程については別紙土地選定経過書のとおりです。

3. 土地利用計画 (面積の妥当性)

必要となる面積を具体的に記入
必要な建物面積と駐車場台数、敷地面積等を記入
現状を数値により説明し、必要面積を記入

農業用倉庫としてプレハブ 1棟

(乾燥機80石 2台、フレコンスケール 1台、ライスストッカー 85
石 2台 米選機 1台 その他 調整一式)

上記のスペースとして150㎡、 延べ床面積〇〇㎡

駐車場〇台分〇〇㎡、その他敷地(車庫、倉庫など) 〇〇㎡の合計〇〇〇㎡
が必要です。

(進入路)

西側国道4号から進入

(取水・排水計画)

取水・・・なし

生活排水・・・なし

雨水排水・・・周囲をL型擁壁で囲み敷地内に砂利敷き、浸透処理します

(造成計画)

敷地内1m盛土、周囲をL型擁壁(1.250mm)で囲う

予定建物の高さ、隣接敷地からの距離により判断、影響がある場合には対処法を記載

(周辺農地・土地改良施設への影響・防除策)

西側は国道に、北側は実家敷地に隣接しており影響はありません。建物の高さは5mありますが、東側農地については建物から10m、南側農地は12m隔離を取るため、日照・通風への影響は軽微であります。敷地内を1m程度土盛しますが、周囲をL型擁壁で囲うため土砂の流出を防ぎます。

申出地に隣接する土地改良施設はありません。

4. 資金計画

必要経費	土地取得費	円、	土地造成費	円、
	建築工事費	円、	その他経費	円、計_____円
資金内容	自己資金	円、	借入資金	円、計_____円

5. 他法令等の状況

必要となる法令等の許可見込みを確認してください。許可見込みがない場合には申出を取り下げてください。可能性があります。

農地法第〇条許可申請・・・許可見込みあり

〇〇年〇〇月〇〇日 さくら市農業委員会事務局 担当〇〇氏に確認

都市計画法第〇条許可申請・・・許可見込みあり

〇〇年〇〇月〇〇日 県都市計画課 担当〇〇氏に確認

道路法第〇条施工承認申請・・・承認見込みあり

〇〇年〇〇月〇〇日 県土木事務所 担当〇〇氏に確認